



2024年5月8日

各 位

会 社 名 L I N E ヤ フ ー 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 C E O 出 澤 剛
(コード:4689 東証プライム)
問 い 合 わ せ 先 上 級 執 行 役 員 C F O (最 高 財 務 責 任 者)
坂 上 亮 介
(電話:03-6779-4900)

当期および前期の連結業績の差異に関するお知らせ

2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日、以下「当期」）と、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日、以下「前期」）の連結業績の差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当期と前期の連結業績の差異

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
当期実績 (A) (2024年3月期)	1,814,663	208,191	181,621	139,073	113,199
前期実績 (B) (2023年3月期)	1,672,377	314,533	235,219	189,163	178,868
増減額 (A-B)	142,285	△106,342	△53,597	△50,090	△65,668
増減率 (%)	8.5	△33.8	△22.8	△26.5	△36.7

2. 差異の理由

・売上収益

2022年10月にPayPay(株)を連結子会社化した影響に加えて、PayPay(株)とPayPayカード(株)を含むPayPay連結の成長に伴う戦略事業の増収、アスクルグループおよびZOZOグループの成長に伴うコマース事業の増収、アカウント広告の成長に伴うメディア事業の増収により、当連結会計年度の売上収益は過去最高となる1兆8,146億円となり、前年同期と比して1,422億円の増収（8.5%増）となりました。

・営業利益

上記増収やコマース事業を中心としたコスト最適化、戦略事業での事業の選択と集中による利益の増加はあったものの、前期にPayPay(株)連結子会社化による企業結合に伴う再測定益1,473億円を計上しているため、その反動減により、当連結会計年度の営業利益は、前年同期比で減益となりました。

・税引前利益

(株)出前館に係る持分法で会計処理されている投資の減損損失について当期計上額が前期計上額を下回ったことによる反動や、Webtoon Entertainment Inc.に係る持分変動利益等があったものの、上記減益等により、当連結会計年度の税引前利益は、前年同期比で減益となりました。

・当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益

2023年10月1日の当社ならびにLINE(株)およびヤフー(株)を中心としたグループ内再編に伴い、繰延税金資産の回収可能性の見直しを行ったことによる法人所得税の減少等があったものの、上記減益により、当連結会計年度の当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、前年同期比で減益となりました。

以 上